

水稻生産情報 幼穂形成期速報

幼穂形成期～出穂期の作業のポイント

水管理

1. 今年の幼穂形成期は、田植えの早晩に関わらず6月30日～7月10日までに到達する見込みです。
2. 5月20日までに田植えをしたほ場では、既に幼穂形成期に到達しています。
3. 幼穂形成期以降、低温時は深水管理が基本ですが、前年、前々年のような高温の場合は浅水で管理しましょう。
4. 今年は茎数が少ない傾向です。20本/株以下のほ場は、中干しを中止し茎数の確保に努めましょう。

追肥

1. 追肥を行う場合は、幼穂形成期後7日以内を目安に作業を完了しましょう。
2. 生育が旺盛な場合は減肥しましょう。

病害虫防除

1. 出穂期は7月25日頃の見込みです。気温が高い日が続くとさらに早まる可能性があります。
2. カメムシ対策は、ほ場周辺にカメムシの生息地を作らないことが重要です。畦畔や周辺草地の草刈りは、出穂の1週間前までに完了するよう計画的に作業しましょう。

I 生育観測ほの生育状況

6月30日の調査では、平年と比較して草丈が長く、葉数が多く、茎数は少ない傾向です。

気温が高いと、3～5日程早まる可能性があります。

表-1 県生育観測ほの生育状況と今後の生育見込み

| 品種名 | 調査地点 | 田植日 | | 6月30日の生育状況 | | | | | | | | 幼穂形成期 | | 出穂予想 | |
|-------|--------|------|------|------------|------|----------|------|--------|-----|---------------------------------------|-----|-------|------|------|------|
| | | | | 草丈 (cm) | | 茎数 (本/株) | | 葉数 (枚) | | m ² 茎数 (本/m ²) | | | | | |
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| まっしぐら | 八戸市市川 | 5/15 | 5/15 | 65.4 | 51.2 | 22.4 | 24.3 | 10.2 | 9.2 | 450 | 481 | 7/3 | 7/12 | 7/26 | 8/6 |
| | 五戸町根前 | 5/16 | 5/15 | 62.1 | 51.1 | 19.0 | 18.6 | 9.6 | 9.1 | 386 | 421 | 6/30 | 7/10 | 7/23 | 8/3 |
| はれわたり | 南部町苦米地 | 5/17 | 5/16 | 68.9 | 58.6 | 18.7 | 26.2 | 9.2 | 8.9 | 355 | 492 | 7/5 | 7/8 | 7/28 | 7/31 |

※ はれわたりの平年は、R4～6年の3ヶ年の平均値。高温年が含まれるため参考とする。

※ 出穂期の本年は幼穂形成期+23日（平年の出穂にかかる日数）を足した予測値。

II 生育ステージごとの水管理のポイント

| 生育時期 | 寒い時 | 暖かい時 | 備考 |
|--------|----------------------------------|------------------------|---|
| 幼穂形成期 | 幼穂形成期深水かんがい (水深 10cm で 10 日間) | | 日平均気温 20℃以下、最低気温 17℃以下で障害型不稔の危険が増すため、深水により幼穂を保護する。 |
| 穂ばらみ期 | 水深 15～20cm | 水深 4 cm | |
| 出穂・開花期 | 水深 10cm | 水深 5～6 cm 時々水を入れ替える | 登熟向上・根の活力維持のため、掛け流しや飽水管理で根に酸素を供給する。 ※高温時の水管理は下記を参照 |
| 登熟期 | 水深 10cm | 水深 2～3 cm 時々水を入れ替える | |
| 落水時期 | 湿田は出穂後 20～25 日 乾田は出穂後 30～35 日 | | 早期落水は胴割米の発生を助長するため行わない。 |

III 高温時の水管理

地温が高くなり過ぎると根の活力が低下し、白未熟粒や胴割粒が発生しやすくなります。出穂以降は飽水管理や水の入れ換えを行い、水温の上がった水を溜め続けないでください。

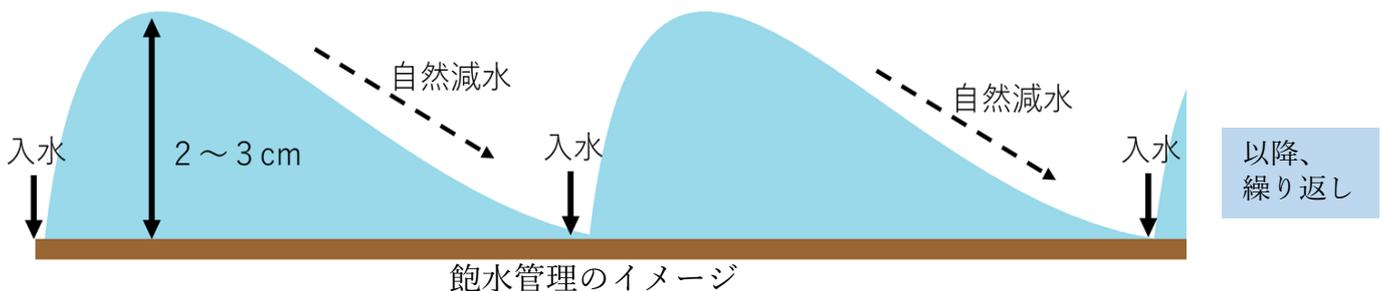
飽水管理とは

飽水管理は、土壤に酸素を供給して根腐れを予防するとともに、株間に風を通して地温の上昇を防ぐ効果があります。飽水管理は田んぼの土が常に湿っている状態を保つことが大切です。

- ① 水尻を止めて田んぼに浅く(2～3 cm 程度)水を入れ、自然に減るまでそのままにします。
- ② 水が減り、田んぼの表面が出て溝や足跡に水がたまっている状態(写真)になったら、再び浅く水を入れます。
- ③ 以降、①→②の作業を繰り返す。



飽水管理の入水目安



— 熱中症にご注意! —

- ・暑い日が続き、体に疲労が溜まる頃は熱中症や農作業事故のリスクが高まります。無理をせず、休憩時間は長めに取るようにしましょう。
- ・作業中はこまめに水分・塩分の補給をしましょう。
- ・二日酔いや病み上がりなど、体調に違和感がある時は無理な作業は避けましょう。

